

鹿児島医療センター平成27年度 脳卒中看護エキスパートナース研修公開講座のご案内

鹿児島医療センターでは、脳卒中看護の質の向上を図る事を目的に、11月30日(月)～12月7日(月)、6日間の脳卒中看護エキスパートナース研修を企画しております。つきましては、この研修の全講義(3日間)をオープン参加とし、地域の医療職、看護職員の多くの皆様にも参加していただけたらと考えております。
1講座から受講を受け付けており、いくつでも無料で受講できますので是非参加していただきたいと思っております。

月日	日 時	場所	講義内容	講師
11/30 (月)	10:40～12:00	鹿児島医療センター 研修棟3階	脳卒中概論	脳血管内科医長
	13:00～14:20		脳卒中看護概論	脳卒中リハビリテーション看護認定看護師
	14:30～16:00		脳卒中の分類と病態生理、診断及び治療	脳血管内科医長
	16:10～17:10		重篤化回避の支援技術	救急看護認定看護師
12/1 (火)	8:30～9:30		栄養管理	栄養管理室長
	9:40～10:40		脳卒中の薬物療法	製剤主任
	10:50～11:50		運動・認知機能障害と評価、脳卒中の検査	脳血管内科医長
	12:50～14:40		脳卒中の外科治療	副院長
	14:50～15:50		脳卒中患者・家族の理解と支援	副看護師長
12/3 (木)	16:00～17:00		急性期合併症予防の支援技術	集中ケア認定看護師
	8:30～9:30		脳卒中リハビリテーション総論	リハビリテーション科医長
	9:40～10:40		摂食・嚥下のメカニズムと障害・訓練技術	言語聴覚士
	10:50～11:50	再発予防の患者家族ケア	脳卒中リハビリテーション看護認定看護師	
	12:50～13:50	脳卒中患者の退院・転院支援	医療ソーシャルワーカー	
	14:00～16:40	脳卒中患者のフィジカルアセスメント	集中ケア認定看護師 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師	

*当院の駐車場は利用できません。公共交通機関をご利用いただくか、自家用車でお越しの場合は、近隣の有料駐車場をご利用ください。
※HPより参加申込票をDL頂き、参加希望日・講座名・病院名・参加者名をご記入の上、FAXでお申し込みください。
申込締め切り 11月17日(火)

参加申し込み先：鹿児島医療センター 教育担当師長：神野 美子 宛 FAX 099-226-9246

鹿児島医療センター第2回がん市民公開講座
“がん”になってもより良く生きる

先着申込順
300名
無料

日時 平成27年11月22日(日)
12:30～16:30(12時開場)

場所 鹿児島県医師会館(大ホール)

●申込締切：11月6日(金)

FAX: 099-226-9246 メール: info@kagomc2.hosp.go.jp
参加連絡票は当院HP(<http://kagomc.jp/>)よりDLできます。
お問い合わせ: 099-223-1151 (平日9:00～17:00 管理課)

- 12:30～13:40 **がん相談** (事前申込が必要)
- 13:50～14:50 **講演 I**
より良く過ごすために ～食べること・話すこと～
- 15:00～16:00 **講演 II**
もし末期がんになったら
～あなたは人生の最後をどこで迎えたいですか～
- 16:00～16:30 **質疑応答**

■お問い合わせ先 独立行政法人 国立病院機構 **鹿児島医療センター** (循環器・脳卒中・がん専門施設)

〒892-0853 鹿児島市城山町8番1号
代TEL 099(223)1151 FAX 099(226)9246 <http://www.kagomc.jp>

【地域連携】 薩田・谷口・田上・吉永・鷺頭・吉留・山口・櫻木・宮崎
【がん相談】 松崎・森・水元・木ノ脇・原田・杉本
フリーダイヤルFAX専用▶0120(334)476
※休日・時間外は当直者で対応します。



連携室だより

鹿児島医セン

鹿児島医療センター(循環器・脳卒中・がん専門施設) 2015.10 vol.114

第1回 がん診療における医科歯科連携講習会

この度、鹿児島医療センター主催による「第1回がん診療における医科歯科連携講習会」を平成27年9月12日(土)に鹿児島市医師会館大会議室において開催しました。本講習会は、本年度当院が鹿児島県がん診療連携拠点病院医科歯科連携推進事業を県から委託され実施しました。本事業は、鹿児島県民へがん治療と口腔管理の必要性についての認識を広く普及するとともに、がん治療及び歯科医療に従事する関係者の資質向上と連携体制の構築を図り、医科と歯科の連携による適切ながん医療の提供を推進することを目的としています。今回は、第1回目として本事業の一番の目的である今後の医科と歯科の連携を円滑に推進していくことを主眼に、がん診療連携拠点病院等の医師、看護師及び医療関係者と地域歯科医療関係者を対象として開催しました。



講習会は花田修一院長による開会挨拶により開演し、事業内容説明と現状報告として、鹿児島県保健福祉部健康増進課がん対策・歯科保健係栗野孝子技術専門員から本事業内容の説明が行われ、引き続き中村康典(歯科口腔外科医長)より鹿児島医療センターにおけるがん診療医科歯科連携の現状と課題についての報告を行いました。続いて、メインテーマであるがん診療医科歯科連携についての特別講演として、本邦でがん診療医科歯科連携を先駆的に取り組み推進し本領域、分野を現在も牽引し続けている静岡県立静岡がんセンター歯科口腔外科部長百合草健志先生を講師に招き、松崎勉先生(耳鼻咽喉科部長)の座長のもと、『がん診療における口腔ケア、がん診療医科歯科連携事業について』の特別講演を行いました。何故今がん診療医科歯科連携が必要なのか、求められているのか、がん診療における支持療法として何故歯科が重要なのかなどを非常にわかりやすくご講演を頂きました。

今回の講習会では、医師、歯科医師、看護師をはじめ多くの職種の方々の参加があり、事前の予想を超える171名の医療関係者の参加を頂き主催者側として大変ありがたく感じております。また、特別講演後の質疑も多く頂き、アンケートでも満足度、理解度が95%以上あり、今後鹿児島県のがん診療医科歯科連携推進への一助になる講習会が開催できたのではないかと考えております。本講習会は、本年度内に3回実施予定で第2回目を平成27年12月5日、第3回目を平成28年2月に予定しています。今回のアンケートの内容を考慮し今後の講習会の内容に生かしていきたいと思っております。詳細が決まり次第ご案内をさせていただきます。

最後に、本講習会開催にあたり、ご協力、ご支援頂きました院内各部署および、各施設、団体に厚く御礼申し上げます。また、今後の本事業に対するご理解、ご協力、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。
(文責：歯科口腔外科医長 中村 康典)



平成27年度 がん看護エキスパートナース研修

鹿児島医療センターでは、地域がん診療連携拠点病院として、がん看護エキスパートナース研修を開催しています。この研修は、施設でがん看護実践モデルとなるための専門的知識と能力を修得することを目的に行っています。今年度は、平成27年7月23日(木)から29日(水)までの5日間開催し、院外6施設6名、院内から6名の計12名の参加がありました。



講義では、がん疫学・腫瘍学・病態生理・がんの集学的治療や化学療法看護、家族看護、放射線療法看護、緩和ケア、がん性疼痛マネジメントなどの看護ケアについて学び、日常の自分の看護を振り返る良い機会となったのではないかと感じています。今回、新しい試みとして、がん看護におけるコミュニケーションスキルについてシナリオを作成し、ロールプレイを実施しました。基本的なコミュニケーションの理解や、自分の感情に気づき、自己のコミュニケーションの傾向を知ることなど、目標に対し研修生から良い反応が得られ有意義な研修になったと思います。また、鹿児島大学医学部保健学科教授 堀由美子先生には、「がん患者の心の軌跡に寄り添うケアを求めて」というテーマで特別講演をいただきました。講演では、事例を通して必要な看護ケアについて考え、患者や家族の揺れる思いに寄り添うことの大切さを再確認できました。また、講演後に事例検討を行うことで、講義で学んだ症状マネジメント・コミュニケーションスキル・患者家族の心理プロセスなどを用いて、適切な介入について考える事が出来ていました。

研修生からは、「認定看護師やコディカルの方から貴重な講義を聞くことができ勉強になりました。患者さんや家族がその人らしく人生を過ごせるように今回学んだ事を活かし、役割モデルとなれるよう努力していきたい。」などの声を頂きました。研修生の意見や担当者の評価を踏まえ、来年度もさらに充実した研修を企画していきたいと考えています。

最後に、研修生の皆様が、今回の研修で学んだことを看護実践の場で活かし、がん看護エキスパートナースとして活躍されることを期待しています。

(文責：西3階病棟師長 池田 智子)



がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会のお知らせ

平成27年度 鹿児島医療センター がん診療に対する緩和ケア研修会(多職種参加)を開催します。

開催日 平成28年1月10(日)・11日(月・祝日)

開催場所 鹿児島医療センター附属鹿児島看護学校

鹿児島保健医療圏の地域がん診療連携拠点病院として、がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修を行うという役割を果たすとともに、鹿児島県における緩和ケア医師等研修事業を円滑に進めるために、研修の講義及び企画・運営・進行に協力する指導者を養成することを目的として、医師のみならず、看護師、薬剤師など多職種参加の研修会を予定しております。「がん性疼痛緩和指導管理料」「緩和ケア診療加算」「緩和ケア病棟入院料」「がん患者指導管理料」「有床診療所緩和ケア診療加算」「外来緩和ケア管理料」については、緩和ケア研修会を修了した医師が治療に携わることが必須の算定要件になっているものもあります。

研修参加ご希望の方は、開催要領、日程表等をご確認の上、鹿児島医療センターホームページ (<http://kagomc.jp/>) より参加申込書をダウンロードの上、平成27年11月20日(金)までに、FAXまたはe-mailでお申し込みください。
問い合わせ先：耳鼻咽喉科 松崎 勉 matsu@kagomc2.hosp.go.jp

診療科紹介 - リハビリテーション科 -

「連携室だより・鹿児島医セン」読者のみなさま、こんにちは。今回の診療科紹介は「リハビリテーション科」です。診療科としてのリハ科は筆者が平成19年4月に赴任し、新規開設となりました。しかし、それ以降から現在まで一人医長職場であり、とうとう今年9年目になりました。その間に療法士・看護師は徐々に確実に増員され、平成27年9月現在は、理学療法士6名・作業療法士2名・言語聴覚士2名・心リハ専従看護師2名(1名育児休暇)の体制となっています。



(1) **心リハ部門**：平成19年5月1日から開始した包括的心リハですが、虚血性心疾患・慢性心不全・心臓血管外科術後患者の集団運動療法・集団教育指導・個別理学療法を行っています。日本心リハ学会評議員である筆者と心リハ部門担当理学療法士・心リハ専従看護師が、日々の臨床において常に運動処方やリスク管理、再発予防の重要性を意識した診療を行っています。入院のみならず外来リハも発足当時から継続しています。

(2) **脳血管疾患リハ部門**：脳血管内科および脳神経外科の入院ケースにおいては、SCU・ICUでの早期リハ医診察および各療法士によるリスク管理を重要視したうえでの早期リハ実施に重点を置いています。超高齢患者・元来ADLの低下していた患者・重症脳出血後患者も多くややマンパワー不足ではありますが、主治医・病棟スタッフ・MSWと協力しながら治療および地域連携に取り組んでいます。

(3) **がん患者リハ部門**：日本がんリハ研究会理事の筆者の診察の後に、がん患者リハ料算定可能な療法士4名(PT2、OT1、ST1)が主に頭頸部がん・血液がん・消化器がんなどの周術期・化学放射線療法患者へ対応しています。筆者は「がんのリハガイドライン」「がんのリハベストプラクティス」出版などにも携わってきましたが、今後はこの領域のエビデンスの高いリハ治療が求められると思います。

(4) **チーム医療への貢献など**：循環器・脳卒中・がんそれぞれのエキスパートナース研修生への講義、NST専門療法士認定教育研修開催、循環器・脳卒中市民公開講座の講師、看護学校への講義、院内心リハ研修講師などを担当しています。

(5) **その他**：鹿児島市立病院循環器科嘱託医、鹿児島県サッカー協会スポーツ医学委員会委員長を兼務し、多方面のリハ医療をサポートしつつ自己研鑽を積んでいるところです。

現在当院リハ科は入院病床を持たない体制にしていますので、他の医療機関からのリハ目的入院紹介を直接引き受けることはできず、また外来リハも心疾患の一部を除いては引き受けることができないのが現状です。地域関連病院の先生方には当院からのリハ継続の患者様をお願いするばかりで誠に恐縮ではございますが、今後ともご指導よろしくお願いたします。

(文責：リハビリテーション科医長 鶴川 俊洋)

